

射水市教育委員会 2 月定例会会議録

開会日時 平成 2 6 年 2 月 2 1 日 (金)

開会 午後 3 時

閉会 午後 4 時 3 0 分

会議場所 下庁舎 2 0 1 会議室

出席委員

眞岸委員長、宮原委員長職務代理者、大代委員、織田委員、結城教育長

会議事件説明員

橋詰教育次長、亀田教育次長、尾山学校教育課長、
仙田教育センター所長、正橋学校給食センター所長、島崎中央図書館長、原田新湊博物館
長、杉本学校教育課主幹、吉野生涯学習・スポーツ課主幹、塩谷学校教育課長補佐、宮本
生涯学習・スポーツ課長補佐、作道生涯学習係長

傍聴人数 0 人

会議の要旨

3 時、委員長が開会を宣し議事に入った。

1 会議録の承認

承認された。

2 教育長の報告

(1) 児童・教員の胃腸症状・感染性胃腸炎について

(2) 射水市議会 3 月定例会会期日程について

(3) 平成 2 5 年度 3 月補正予算について

(4) 平成 2 6 年度当初予算について

(5) 射水市議会 3 月定例会提出議案について

(6) 平成 2 6 年度 行政組織の再編方針(案)

教育長、教育次長が資料 1 から 6 に基づき説明した。

3 協議事項

(1) 射水市スポーツ推進計画について

生涯学習・スポーツ課長補佐が資料 7 に基づき説明し、承認された。

(2) 民生委員推薦会委員の補欠委員候補者の推薦について

学校教育課長が資料 8 に基づき説明し、織田委員を民生委員推薦会委員の補欠委員候補者として推薦することとした。

4 各課等の連絡事項及び報告事項

(1) 平成25年度末教員異動方針について

教育次長が資料9に基づき説明した。

(2) 平成25年度卒業(修了)式及び平成26年度入学(園)式について

教育次長が資料10に基づき説明した。

(3) 学校医等の委嘱について

学校教育課長が資料11に基づき説明した。

(4) 消費税率の引き上げに伴う給食基準単価の引き上げについて

学校教育課長が資料12に基づき説明した。

(5) 少子化対策推進委員会幼稚園部会の設置について

学校教育課長が資料13に基づき説明した。

(6) 教育委員会行事予定

学校教育課長補佐が資料14に基づき説明した。

5 その他

次回教育委員会の開催日時について

日時・場所は、3月28日(金)午前10時から下庁舎で開催

6 議事

(1) 平成26年度当初予算について

[委員] 今回Q-Uが予算化されなかったが、今後も必要性を訴えていただきたい。

消費税率が上がることによって、料金改定することとなるが、一覧表の掲示などわかりやすくしたりするなど、市民に混乱を来さないよう現場の指導をお願いしたい。

(2) 児童・教員の胃腸症状・感染性胃腸炎について

[委員] 大門小学校の集団感染については、児童数が多いことから感染者数が多くなってしまったと考えられるが、学校と教育委員会が連携して迅速に動いたことで、更なる拡大が防げたものと感じている。命に関わることでもあるので教職員はもとより、給食調理に従事する方々を含めて衛生管理を徹底していただくよう意識の向上に努められたい。

(3) 射水市スポーツ推進計画について

[委員] ダイジェスト版は簡潔に良くできている。内容も充実している。障がい者の「がい」はひらがなの「がい」か「害」か「碍」とも書く。どれが適しているのか。

[事務局] ここではひらがなの「がい」を使用している。ただし、固有名詞の場合は漢字を用いる。人権に配慮していることから、ひらがなで書くようになっている。

[委員] プランを策定するときは一生涯懸念するのだが、担当者が変わると疎かになる場合がある。5年後に中間見直しをするということだが、1年1年進捗をチェックされ、目標に早く到達していただきたいと思う。

[委員] 推進プランはスポーツクラブなど幅広く配布するのか。

[事務局] 各団体の総会等で配布・説明し周知したい。

[委員] 地域総合型スポーツクラブにおいて、財源的にも toto の財源が無い中、自主財源の確保も難しい状況になってきている。この計画において、スポーツの裾野を広げるという意味で大きな役割をする団体であり、当初の立ち上げ段階では、社会体育主事の先生方が協力していただいたことで、団体自身も自主的に活動できるようになった。現行では少子化や指導者不足もあり、運営に関し悩んでいるところも多くあることから支援や指導をお願いしたい。

[委員] 広報などと一緒に各家庭に配布するのか。東京オリンピックもあることから、家庭でもプランの基本施策を見ながら、子どものスポーツ活動を後押しする気持ちになると思う。

[事務局] 周知方法については、また、考えたい。

[委員] 目指す将来像にも掲げられている、「市民一人ひとり」という言葉からして、現在スポーツ活動している人だけでなく、いろいろな年齢層の方々に、この計画を周知する必要があると思うので、しっかりと周知されたい。指標を設けてあるが、しっかり実施されているかどうか検証して行ってほしい。

[委員] 市民の健康づくりは非常に大事。大事なことの一つにみんなでチャレンジ3015がある。運動に取り組む児童を増やす。子どものときに習慣をつけると、年を重ねても継続していくことができる。いかに子どもたちに運動をさせるか、働きかけて言ってほしい。成人の運動については、運動効果は毎日実施を100とすると、1日おきの実施は90%、週に1回の実施は50%、月に1回だと0%となることから、せめて、週に2～3回は取り組んでほしいと思う。この計画書がしっかりと活用されるように周知・啓発に努められたい。

4時30分、議事等が終了したので委員長が閉会を宣した。